

教科等	見方・考え方
<b>国語</b> 「言葉による 見方・考え方」	<b>【小・中学校】</b> 言葉による見方・考え方を働かせるとは、児童（生徒）が学習の中で、対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること （根拠：小[中]学校学習指導要領解説 国語編）
<b>社会</b> 「社会的な 見方・考え方」	<b>【小学校】</b> ○社会的事象の見方・考え方 社会的事象を、位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係に着目して捉え、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること （根拠：小学校学習指導要領解説 社会編） <b>【中学校】</b> ○社会的事象の地理的な見方・考え方（地理的分野） 社会的事象を、位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付けること ○社会的事象の歴史的な見方・考え方（歴史的分野） 社会的事象を、時期、推移などに着目して捉え、類似や差異などを明確にしたり、事象同士を因果関係などで関連付けたりすること ○現代社会の見方・考え方（公民的分野） 社会的事象を、政治、法、経済などに関わる多様な視点（概念や理論など）に着目して捉え、よりよい社会の構築に向けて、課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連付けること （根拠：中学校学習指導要領解説 社会編）
<b>算数、数学</b> 「数学的な 見方・考え方」	<b>【小学校】</b> 事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、根拠を基に筋道を立てて考え、統合的・発展的に考えること （根拠：小学校学習指導要領解説 算数編） <b>【中学校】</b> 事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、論理的、統合的・発展的に考えること （根拠：中学校学習指導要領解説 数学編）
<b>理科</b> 「理科の 見方・考え方」	<b>【小学校】</b> <b>〔見方〕</b> （自然の事物・現象を） 「エネルギー」を柱とする領域 主として量的・関係的な視点で捉えること 「粒子」を柱とする領域 主として質的・実体的な視点で捉えること 「生命」を柱とする領域 主として共通性・多様性の視点で捉えること 「地球」を柱とする領域 主として時間的・空間的な視点で捉えること <b>〔考え方〕</b> 問題解決の過程の中で用いる、比較、関係付け、条件制御、多面的に考えることなど （根拠：小学校学習指導要領解説 理科編） <b>【中学校】</b> 自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考えること （根拠：中学校学習指導要領解説 理科編）
<b>生活</b> 「身近な生活に 関わる見方・考え方」	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現しようとする事 （根拠：小学校学習指導要領解説 生活編）
<b>音楽</b> 「音楽的な 見方・考え方」	<b>【小学校】</b> 音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や文化などと関連付けること （根拠：小学校学習指導要領解説 音楽編）

	<p>【中学校】 音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などと関連付けること (根拠:中学校学習指導要領解説 音楽編)</p>
<p>図画工作、美術 「造形的な 見方・考え方」</p>	<p>【小学校】 感性や想像力を働かせ、対象や事象を、形や色などの造形的な視点で捉え、自分のイメージをもちながら意味や価値をつくりだすこと (根拠:小学校学習指導要領解説 図画工作編)</p> <p>【中学校】 よさや美しさなどの価値や心情などを感じ取る力である感性や想像力を働かせ、対象や事象を、造形的な視点で捉え、自分としての意味や価値をつくりだすこと (根拠:中学校学習指導要領解説 美術編)</p>
<p>家庭、 技術・家庭(家庭分野) 「生活の営みに 係る見方・考え方」</p>	<p>【小・中学校】 家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、生涯にわたって、自立し共に生きる生活を創造できるよう、よりよい生活を営むために工夫すること (根拠:小学校学習指導要領解説 家庭編、 中学校学習指導要領解説 技術・家庭編)</p>
<p>技術・家庭(技術分野) 「技術の 見方・考え方」</p>	<p>【中学校】 生活や社会における事象を、技術との関わりの視点で捉え、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性等に着目して技術を最適化すること (根拠:中学校学習指導要領解説 技術・家庭編)</p>
<p>体育、保健体育 「体育の 見方・考え方」  「保健の 見方・考え方」</p>	<p>【小・中学校】 運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けること 個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付けること (根拠:小学校学習指導要領解説 体育編、 中学校学習指導要領解説 保健体育編)</p>
<p>外国語活動、外国語 「外国語による コミュニケーションに おける見方・考え方」</p>	<p>【小・中学校】 外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること (根拠:小学校学習指導要領解説 外国語活動編・外国語編、 中学校学習指導要領解説 外国語編)</p>
<p>総合的な学習の時間 「探究的な 見方・考え方」</p>	<p>【小・中学校】 各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続けるという総合的な学習の時間の特質に応じた見方・考え方のこと (根拠:小[中]学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編)</p>
<p>特別活動 「集団や社会の 形成者としての 見方・考え方」</p>	<p>【小・中学校】 各教科等の見方・考え方を総合的に働かせながら、自己及び集団や社会の問題を捉え、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実現に向けた実践に結び付けること (根拠:小[中]学校学習指導要領解説 特別活動編)</p>